資料4

越谷市の地域特性及び公共交通の現状について

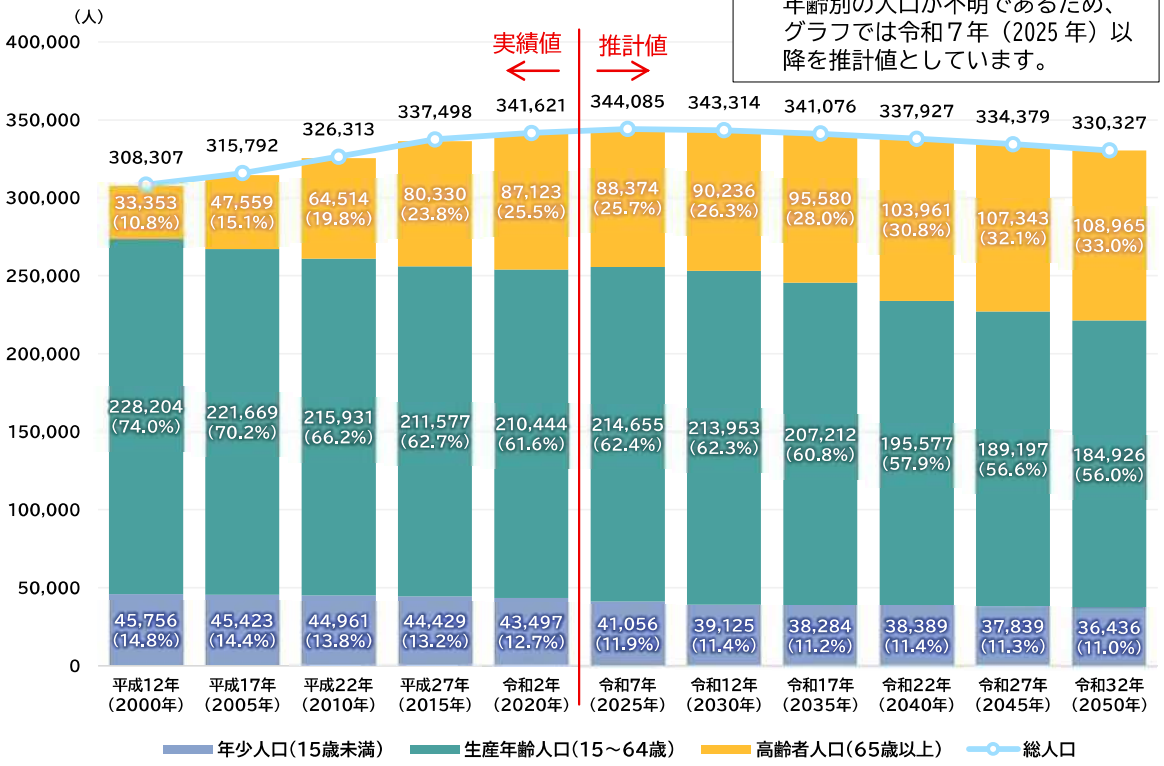
１．将来人口の見通し

本市の総人口は、令和２年（2020 年）時点で 341,621 人（令和２年国勢調査）となっており、近年も一貫して人口は増加傾向にあります。しかし、令和７年国勢調査の速報集計によると、令和７年（2025 年）時点の人口は 341,602 人となっており、令和２年（2020 年）時点の総人口を下回っています。

将来人口の見通しをみると、令和２年（2020 年）時点の国勢調査データを基にした国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来人口推計によると、本市の人口は、令和７年（2025 年）以降減少傾向に転じることが予測されています。

年齢３区分別の人口割合をみると、年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）は減少傾向、高齢者人口（65 歳以上）は増加傾向となっています。令和２年（2020 年）時点の高齢化率は 25.5%と、埼玉県平均の 27.0%や全国平均の 28.0%を下回っていますが、令和７年（2025 年）以降は少子高齢化が進行し、令和 32 年（2050 年）には高齢化率が 33.0%となることが予測されています。

※ 令和７年国勢調査の速報集計では年齢別の人口が不明であるため、グラフでは令和７年（2025 年）以降を推計値としています。



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口　令和５(2023)年推計」

図：越谷市の人口推移と将来人口推計

２．公共交通の現状（利用者数の動向）

本市の公共交通は、令和８年（2026 年）７月現在、鉄道が２路線（東武鉄道伊勢崎線【東武スカイツリーライン】、JR 武蔵野線）、路線バスが 76 系統（高速バス・深夜バス含む）運行されており、乗用タクシー15 事業者（個人タクシー８事業者含む）が利用できる状況となっています。

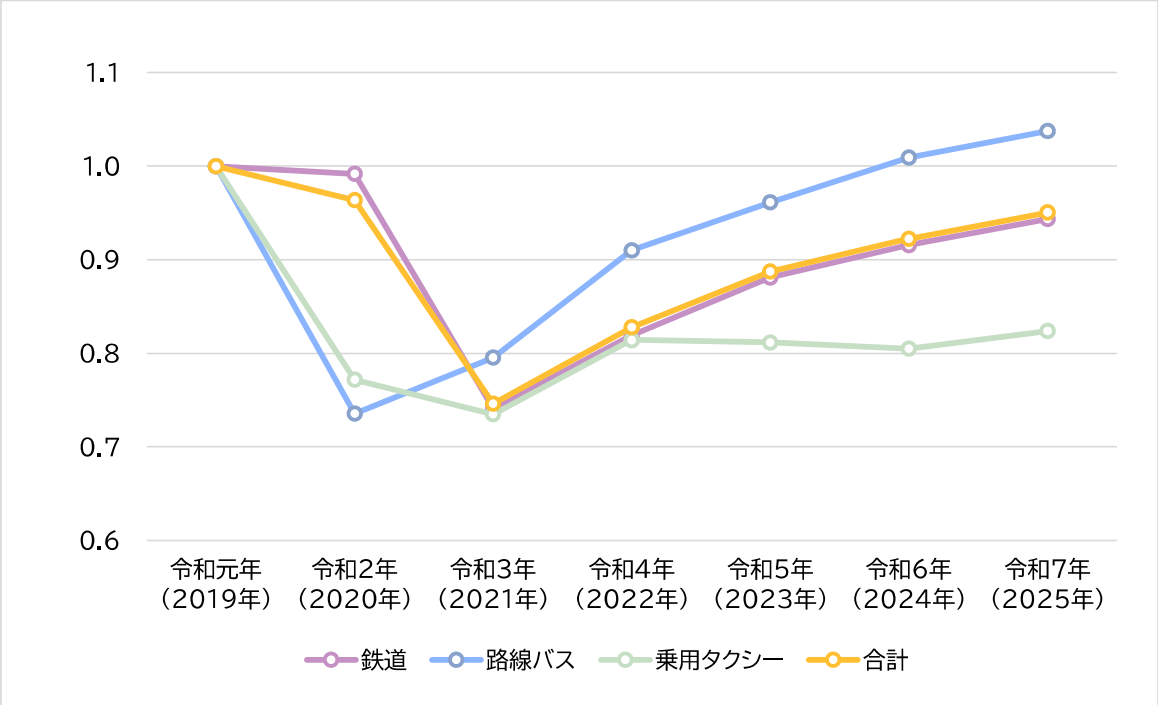
本市の令和７年度の公共交通の利用者数は 300,029 人となっており、前計画を策定する前の令和元年度の利用者数と比較すると、約５％減少しています。種別にみると、鉄道利用者数は６％減少、路線バスの利用者数は４％増加、乗用タクシーの利用者数は 18%減少しています。

今後、本市の人口は減少に転じる見通しであり、公共交通の利用者数も減少することが見込まれます。

表：公共交通利用者数（人/日）の推移

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
鉄道	280,236	277,917	207,680	229,599	246,869	256,567	264,431
路線バス	29,936	22,022	23,812	27,245	28,778	30,209	31,059
タクシー	5,510	4,253	4,049	4,486	4,472	4,435	4,539
合計	315,682	304,192	235,541	261,330	280,119	291,211	300,029
対前年度	1,931	−11,490	−68,651	25,789	18,789	11,092	8,818

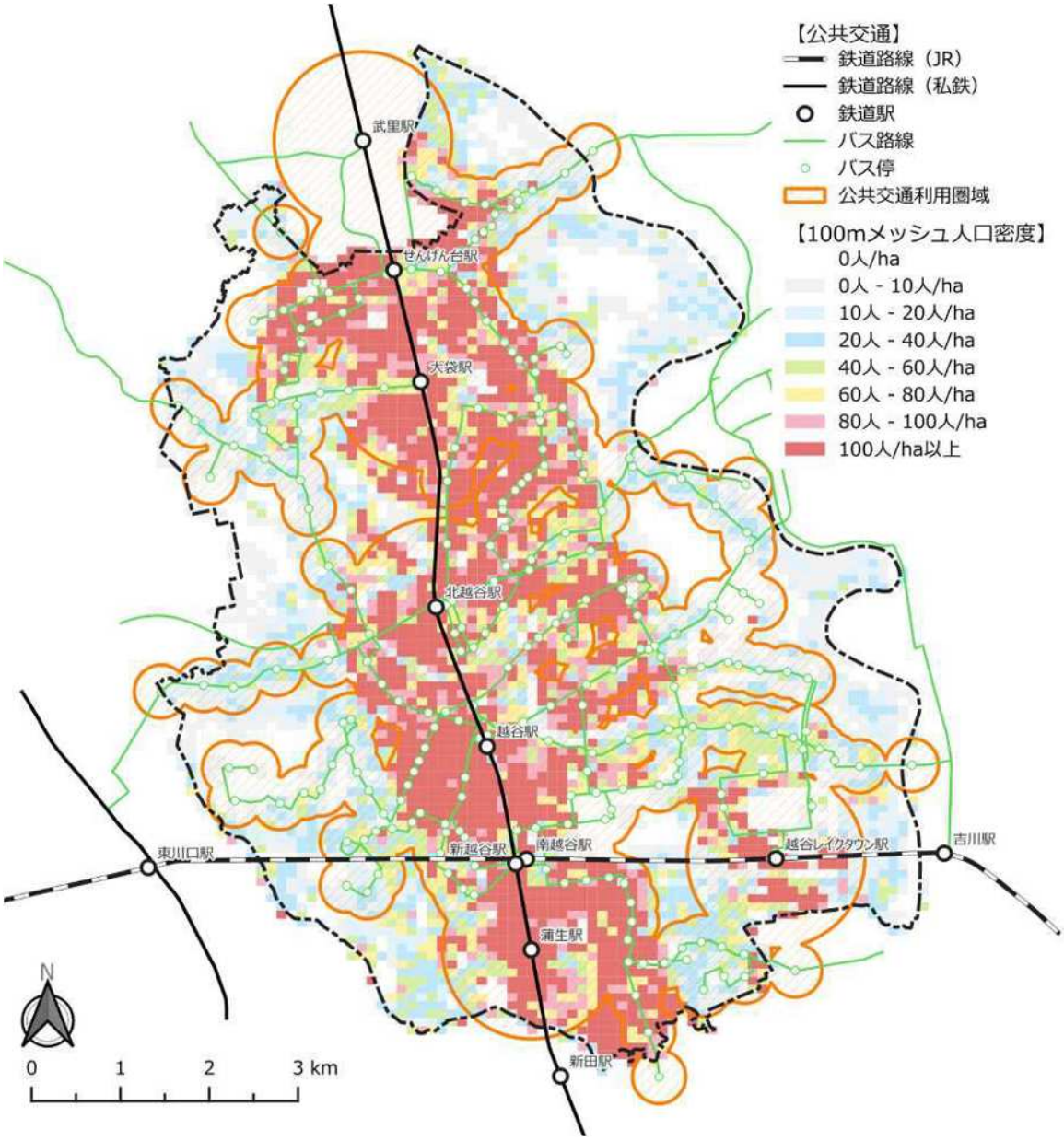
資料：各事業者からの提供資料



図：鉄道、路線バス、乗用タクシーの利用者の増減率（令和元年を 1.0 とした比率）

３．公共交通の現状（公共交通利用圏と人口分布の状況）

本市の公共交通利用圏域（鉄道駅から１㎞もしくはバス停から 300m 以内の区域）は、市街化区域内の人口が集中しているエリアの大部分をカバーしています。公共交通利用圏カバー率をみると、本市の面積の 70.0%をカバーしており、人口では 88.7%をカバーしています。



資料：令和 2 年簡易 100m メッシュ人口データ、令和 8 年 3 月版こしがや公共交通ガイドマップ、国土数値情報

図：公共交通利用圏域と人口密度の分布状況